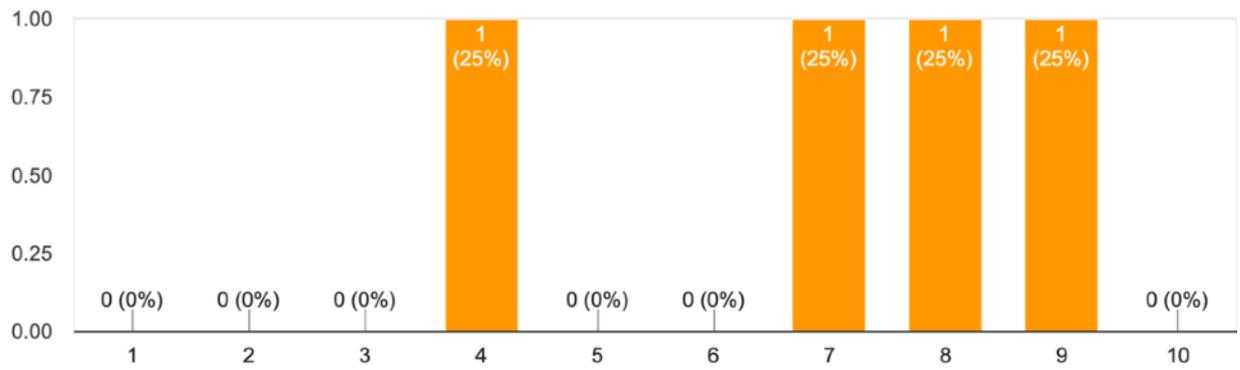


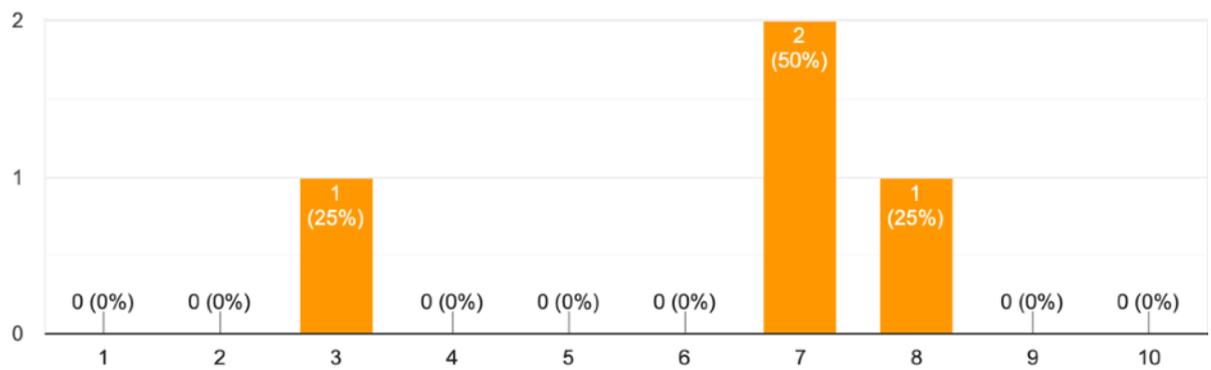
### 読みやすさ

4件の回答



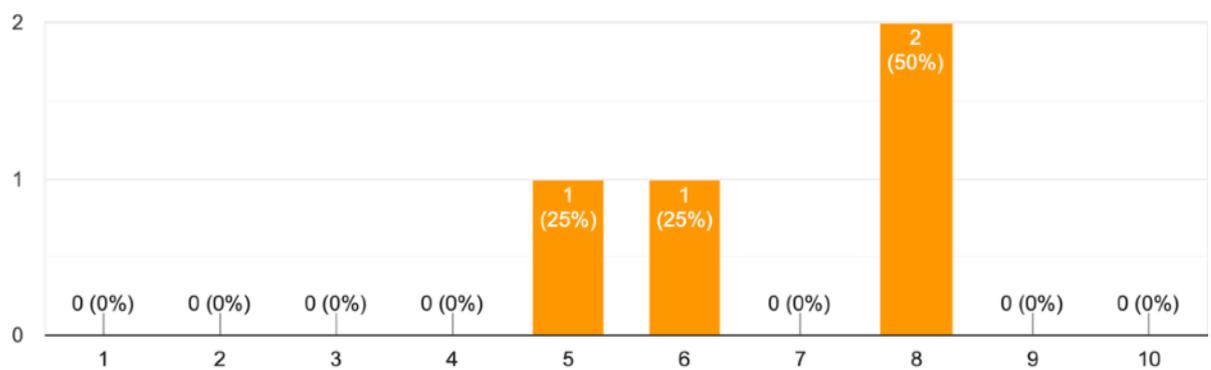
### 情景描写

4件の回答



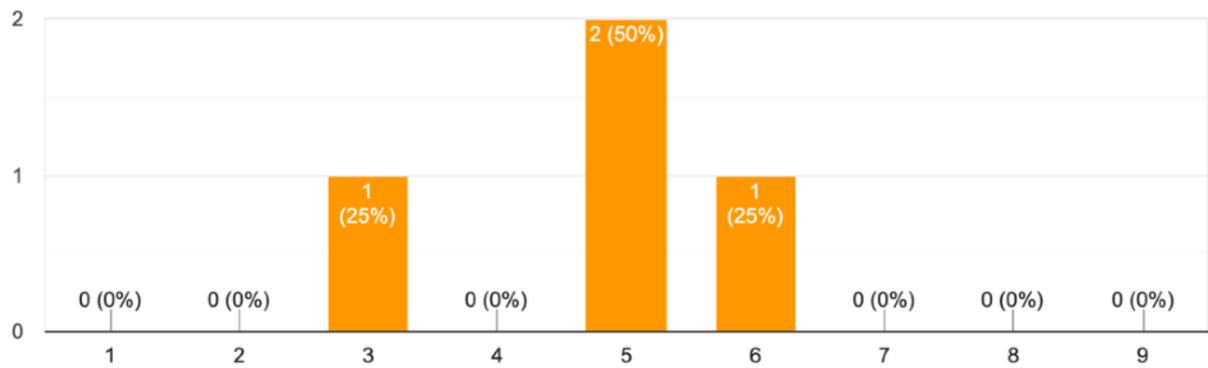
### 全体のまとめ

4件の回答



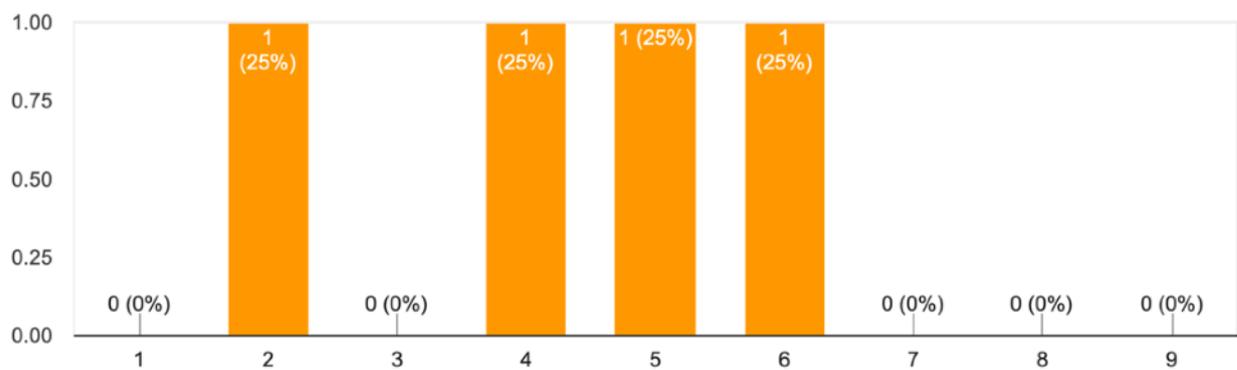
### シーンごとの分量の配分

4件の回答



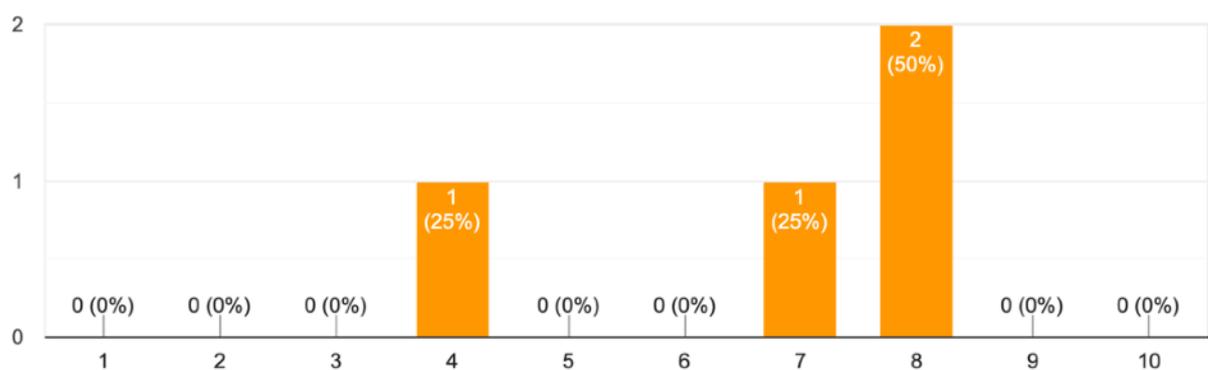
### 要素の詰め込み具合

4件の回答



### 全体を通して10段階で評価すると

4件の回答



# 評価アンケート

選択肢 1

お名前 \*

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ \*

OK

だめ

その他: .....

誤字ありましたらご報告を...

大変細かい点で申し訳ないのですが.....

「道路を歩く」 → 「歩道を歩く」

「道路を歩く」も決して誤用ではありませんが、文章の雰囲氣的にこの子は車道の真ん中をふらっと歩いていてもおかしくないな、と想起しました。

「粘着剤のような」 → 粘着剤は一般的にエラストマーという種類の接着剤全般を指すので、文字のイメージとは反してサラッとしたものも存在します。「木工用ボンドのような」など、ドロツとした接着剤を具体的に挙げた方が適切かもしれません。または、「粘着質な」に置き換えても文章が成立すると思います。

## 全体を総合しての評価

10段階（1がよくない～10がよい）でお願いします。特に何も感じない、普通の時は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

良かった点を教えてください。

全体的に夢を見ているようなふわふわした文章で、詳細は後述しますがこれが良くも悪くも作品全体の雰囲気作用していると感じました。

また、「僕だけに見える天使に会った。」という書き出しも魅力的です。

子供っぽいやりとりの平和さから、成長とともにまるで空気のように扱われるようになってしまった「僕」への変遷も切なく、印象的でした。

よくなかった、批判点などを教えてください。

全体的に描写がわかりづらい点が多く、話題が唐突すぎるきらいがあるかと思います。ただ、このわかりづらさ、唐突さが作品の雰囲気に寄与している部分も確実にあり、好みによる部分が一部あるかとも感じました。

ただ、やはりところどころ読んでいてつまづく点が多いように思います。

具体例を挙げると、「近所のじいちゃんが言ってたし、そのときは適当に誤魔化した。」というのは、一体何を誤魔化したのだろう？ということや、コンビニのくだりの「僕は時々、本物よりずっと面白い物語ができたと確信していた。」というのは、一体何について話しているのだろう？とつまづきました。

前者は「天使と友達である点」、後者は「天使と友達の自分、という物語」を指しているのかな、と推理しましたが、幻想的な文体が素敵な反面、こういった描写不足や唐突な話題の変更でつまづきが生じるのはもったいないと思います。

読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>					

批判点にも書いた通り、読んでいてつまづく部分が多く「読みやすい文章」とは感じられませんでした。散文詩的な要素があるようにも思えたので、幻想文学的・詩的な散文に振るか、テーマが明示的で鋭利な物語に振るか、どちらかを考えて書くと、もっといい文章になると考えます。あるいは、その中間を目指すのであれば、一度文章を読み上げてみて、不自然な流れがないか確認して描写を強化するなどをする、より読みやすくなると思いました。

一例をあげると、最後の段落、「人の目はスポットライト。」というのはすごくいいフレーズだと感じたのですが、この出てきかたがかなり唐突です。また、誰にも見られていない、無視されていると感じるのであれば「出たり入ったり」できていないのではないのでしょうか。個人的嗜好による例文ですが、以下のような雰囲気だとよりわかりやすいと思います。

「ひとびとの目はたぶん、スポットライトなんだ。できるなら僕は、その光のなかに出たり入ったりを繰り返したい。そんなふうに時折、透明人間になったり、ただの人間に戻ったりしながら生きてたい。」

### 情景描写

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>						

全体を通した情景はあまり伝わってきませんでした。

例えば、前半は冬、後半は季節が不明です。「僕」の後半の独白以外は、感情も状況もよくわからない感じに思えました。

これはあくまで私の好みによる例えですが、冬に手を繋ぐのなら「手袋をつけなくて手を繋がないといけない」とか、「地面に落ちては溶けていく粉雪に天使と同じように儚さを感じた」とか、何か冬らしい情景描写があれば面白いかな、と思います。

後半に行くにつれて文章が幻覚的なものになっていくのは意図した流れだと思いますので、後半の情景が感情的なものになり、あまりはっきりと伝わらないのは問題ないのだと思いますが、「現実逃避」する際の僕と天使の思い出がもっとたくさんあると、夢に走る様子がよく読み取れると思います。

### 全体のまとめ

1（まとめがない）～10（まとめがある）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				

先述の通り、文章そのものは散文的でありまとまりは無いと思いました。素の状態だと2~3だと思います。  
しかし、テーマはしっかり伝わってくるので、その一貫性が4~5ぐらいまで押し上げていると思いました。

### シーンごとの分量の配分

1 (少ない) ~5 (適切) ~9 (多い)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>					

できればもっと細かい描写が読みたい！と思わせる文章でした。  
情景描写の不足については先述の通りですが、それ以外の点で、特に後半の幻想的な文章がとても素敵です。  
現実から幻想へとシームレスに移行していくさなか、「僕」の情緒面をもっと読み取ってみたいと思いました。

### 要素の詰め込み具合

1 (少ない) ~5 (適切) ~9 (多い)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>						

各要素の詰め込み方が脚本のようで、少しスカスカ気味に感じられました。どこに比重を置きたかったのかが読み取れなかったのですが、特に前半は、思い切ってもう少し長めに要素を詰めてもいいんじゃないかなと思います。

## 文章ルールについて

文章ルール自体は校正対象になるような部分はないと思います。ただ、文章のまとまりがないことで、一瞬ルールから逸脱しているように感じられる箇所が散見されました。

## 全体を通して10段階で評価すると

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>					

発想はとても好みで、幻想的な内容も大好きです。

ただ、何度か話題に出している表現の唐突さや情景のあいまいさがひっきりになり、この点が改善されているとより発想のすばらしさ、全体に漂う無常さが表現できると思います。

具体的な部分だと、前半のコンビニのくだりの会話は結構なひっきりポイントだと思います。「僕」と「天使」の関係性を描くにはよい内容かと思いますが、その後（成長後）に会話がないため、要素としての意味が失われているのが惜しいと感じました。

このような雰囲気の小説であれば、情景描写に大きく振り、会話劇を一切省いてもよいのではないかと思います。あるいは、後半にも会話劇を挟み、「もう成長してしまって、変わってしまった」ということを効果的に魅せることも可能だと思います。

ただ、やはり「手を繋いでいる時だけ見える天使」「徐々にそれと同じような、空気のような存在になって行ってしまう僕」という発想はとても魅力的です。もし今後改稿を行う、或いは同テーマで別の小説を書かれるようであれば、是非読んでみたいと感じました！

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

# 評価アンケート

選択肢 1

お名前 \*

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ \*

OK

だめ

その他: .....

誤字ありましたらご報告を...

## 全体を総合しての評価

10段階（1がよくない～10がよい）でお願いします。特に何も感じない、普通の時は5に入れてください。  
記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

良かった点を教えてください。

最初の二文でしっかり天使の性別描写をしているところ。

→「僕だけに見える天使に会った。彼は疲れた感じに笑うお兄さん。」

※この話は「天使」と「僕」の対一関係を書いた短編小説だと思うので、二人の性別と関係性が最初の一段落目で明確に分かるのが良かったです。

- ・大勢から向けられる、粘着剤みたいにべたべたとくっつく視線 →好きです
  - ・かすかに触れる残り物の小指は力強くて温かい。 →「残り物の小指」という言葉がめちゃくちゃ好きです
-

よくなかった、批判点などを教えてください。

(好みのレベル) 初めて会ったとき、彼は空を見ていて、僕は帰りたがっているのだと思った。

→なぜなのかわからないのですが「僕は」がないほうが分かりやすいかも.....?と思いました。「僕は帰りたがっている」を読んだ時点だと帰りたいたいのがどちらなのか一瞬混乱するからかも?

(好みのレベル) 天使は手を繋がないと他の人に見えない。

→ここは逆に、「僕と手を繋がないと〜」と、補足があったほうがいい気がしました。あるいは「天使は、僕と手をつなぐことで初めて他の人にも見えるようになる。」とか?ただ、現状でも意味は通じます!

(好みのレベル) 近所のじいちゃんが言ってたし、そのときは適当に誤魔化した。

→近所のじいちゃんが「そう」言ってた、のほうが分かりやすいかも? (すっと読める)

→文の最後が「誤魔化した」なので、文の前半で「近所のじいちゃんがそう言って不審そうにしていたが、そのときは適当に〜」と、おじいちゃんの反応(→誤魔化す、に繋がりそうな言葉)を入れておいたほうが繋がりが良い気がしました。

一文一文が歌詞のように印象的で、切売さんらしいふんわりとした文体はとても素敵のところだと思うんですが、文意を取るのに少しひっかかるところが多少あり、全体的に情報補完する方向で見直してもいいかも?とも思いました。

(とはいえ意味のわからない箇所などは全くありません。あくまでも「少し読むスピードが落ちる部分があるかな?」という程度のことです。)

また、まったく別の視点の指摘なのですが、短編は印象がすべてなので、最後にもう少し余韻を残すための力強さがあってもいいかも? と思いました。

本作は、「天使」と「僕」との関係性に重点が置かれている物語だと思います。そのため、最後のシーンでも、天使と何事かを言い合って終わるとか、天使と目が合って終わるとか、そういうシーンを入れて締めるほうがうまくまとまりそうです。(前の段落で天使と見つめ合うシーンがあるとは思いますが、もっとラスト寄りにもあったほうがいいかなと.....!)

→と思ったんですが、数日おいて読み返すと「関係性」重視の話でもないのかな.....と思い直しました。

「僕」本人の生き方の話がメインテーマなのであれば、もうちょっと天使に注目しすぎないパートがあってもいいかもしれません。

ただのアイデアメモ: 第三者との交流と天使との交流を交互に書いて濃淡を出すとか、天使のことが邪魔に思えたり天使からも見えなくなったり(透明性が上がる)距離感を出すとか

(でも作品があんまり長くなるのも違いますよね.....。)

## 読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					

読み続けていたくなるような印象的な文章です。(↑で書いた通り、少し文意が読み取りづらいところがありました。でも個人的にはなんでもかんでも分かりやすい文章に変えていこうとすると味が失われるところもなくはないので、受け入れられるレベルでほどほどに読みやすくしていく.....ぐらいでいいんじゃないかな、という気がしています)

### 情景描写

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					

↑で書いた通りです。

### 全体のまとめ

1 (まとめがない) ~10 (まとめがある)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				

↑で書いた通りです。

### シーンごとの分量の配分

1 (少ない) ~5 (適切) ~9 (多い)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

(短編ということもあり、分量配分は何も気になりませんでした！)

要素の詰め込み具合

1 (少ない) ~5 (適切) ~9 (多い)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

↑で書いた通り、表現したいテーマによっては分量をもう少し増やしてもいいかも、と思います。

文章ルールについて

特に気になるところはありませんでした。

全体を通して10段階で評価すると

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

# 評価アンケート

選択肢 1

お名前 \*

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか？ \*

OK

だめ

その他: .....

誤字ありましたらご報告を...

・誤字とは言えないのですが、「同級生」の使い方を考える機会になればと思いました。  
自分の場合、日常会話の中でなら、卒業して元同級生となった人でも単に「同級生」と呼びます。世間一般ではどうなのでしょう。ちょっと分からない。  
wikiによれば、【同じ学級の学生・生徒】なので、卒業してしまえば「同級生」ではないということになります。切売さんも辞書的な正しさを踏まえて【学生時代の同級生】とされているのだと思いました。  
近似の言葉に「同窓生」（意味：同じ学校の出身者。学年が違う場合を含む）があります。  
学校も違うとなれば「同学年」、同学年ですらなく近い年齢であれば「同年代」。  
ここで本文を振り返ると、成長した僕と天使の年の差を説明する語として「同学年」「同年代」ではなく、あえて【学生時代の同級生】が採用されているのは、僕と天使が長い年月をそばで過ごしてきた愛着も含めて表現されているように思われ、適切な語句の選択だと思いました。つまり、年齢という視点だけではなく、二人の親密さも含めて「同級生」が採用されているように見えました。  
たとえ、ぴったり同じ年齢・学年ではなく、実際は近い年齢なのだとしても、僕から見た天使は「同級生（近い距離で同じ時間を過ごした仲間）」と呼ぶにふさわしい仲だと言えるからこそだと思います。

## 全体を総合しての評価

10段階（1がよくない～10がよい）でお願いします。特に何も感じない、普通の時は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

良かった点を教えてください。

- ・本文の評価ではないのですが、【僕の天使は手を繋がないと見えない】ってコピーが興味惹かれます。【僕の天使】が謎めいているし、【手を繋がないと見えない】も理由が知りたくなる。
- ・【彼は空を見ていて、僕は帰りがっているのだと思った】→子供らしい感性が表現されていると思いました。そこから【だから、天使ということにした】というストレートな解釈もまた良い。
- ・【僕が触ると、部屋の電気がつくみたいにパッと世界に現れる】→比喩が明快で完璧。現れ方の表現も、徐々に見えてきたり消えかかったりではなく【パッと】現れるのだと明示されていて、想像を助けてくれます。電気のオンオフに喩えられることで、更に印象付けられます。
- ・【こんなにもここにいる】→我々が日常でまず使うことが無い表現（存在することを”こんなにも”と強調する）ですが、これも子供らしい表現で素敵です。  
というか、子供ならこういう見方をするのではないか、という切売さんの想像力・洞察力がすごいし、「こんな表現、普通しませんよね」と言われるかもしれないのに、思い切って文章にしてみえるのがカッコいい。
- ・【お菓子の棚やマガジンラックについて調査する】【表紙と題名を貴重な手がかりにして内容を推理する】→買うために来たとか、買って帰る様子とかが無いので、おそらくお店からしたら”ひやかし”のお客なのですが、本人にとっては重要な任務であるように振る舞うごっこ遊びなのでしょう。  
確か、森見登美彦著「郵便少年」に「郵便という仕組みを発見した」という記述があったと記憶していますが、子供が社会に触れた感触を言い表す点において、近いものを感じました。
- ・【繋いだ手が緩む。指が一本ずつ、剥がれていく。人差し指、中指、薬指。僕と天使のあいだに隙間ができていく】→手を繋がないと見えないという話で、手離す流れになるの、あまりにもエモい……。指を一つずつ離していくのをきちんと書き込んでいて、その状況が目には浮かびます。後にも【かすかに触れる残り物の小指】と出てきて、いや～～～～もう感情がアレですね（語彙）。完全に離れる決心に至るには、長く時間を共にし過ぎたんだよね……。天使がまるっきり天使の形をしていたら、周囲は受け入れてくれたのかな。
- ・【粘着剤みたいにべたべたとくっつく視線】が【僕の存在が他人の目を通して失われる】に変わっていくのが、残酷なようで、実際そうなりそうなのが良いですね。天使と離れることで、みんなに見てもらえるようになるのだろうか……。

よくなかった、批判点などを教えてください。

・【そのときは適当に誤魔化した】→何を誤魔化したのか分かりませんでした。後に【他の人にも天使を見て欲しかった】とあるので、天使を秘匿したいわけではない。じゃあ現れる方法を誤魔化したかった？なぜ.....？ と思って読み直したところ、手を繋いでいる存在は、確かにそこにいるのだから人に見せたい。でも、それが現れたり消えたりする超常現象的な存在であると知られたくなくて（僕の大切にしている存在を異形の者だと思われたくなくて）、誤魔化したということかな？ となりました。

かなり譲歩して読んで、自分なりに腑に落ちる解釈にこぎつけたので、本文だけでは誤魔化す動機が説明不足かと思いました。

・【現実逃避。なぜかぼんやりとよぎる言葉。僕たちは逃避行をしていた】→僕はなぜ現実逃避・逃避行をしていたのか、天使と交流していたのか、天使と出会う前のエピソードが全く無かったので急展開に感じました。

・【お兄さんでなくなった、学生時代の同級生だと紹介してもおかしくない姿】の意図が不明瞭でした。

時が経って変化したのは僕なのに、変化しない天使を基準にして時の経過を説明されるのは、分かりづらく感じました。直前に【天使は僕を見つめ返す】とあるので、その瞳に映った自分の姿を見て「天使の同級生と言われてもおかしくない姿」と説明されたなら、なるほど、と思います（この場合、【お兄さんでなくなった】は除かなければなりません）。

また、【学生時代の同級生】と出てきたことで、僕・父・天使それぞれの年齢の辻褄を合わせるために計算しなければならなくなり、読者に論理クイズをさせないでほしいな.....と思いました。

### 読みやすさ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>						

### 情景描写

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>					

全体のまとめ

1 (まとめがない) ~10 (まとめがある)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>						

シーンごとの分量の配分

1 (少ない) ~5 (適切) ~9 (多い)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				

コンビニでチョコを見ているくんだり、何のチョコだろう？ と推測する楽しさはあったのですが、調べても結局たどり着けず、この会話が自分にとっては蛇足に感じてしまいました.....(笑)

要素の詰め込み具合

1 (少ない) ~5 (適切) ~9 (多い)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>				

現実逃避・逃避行の動機になるような、天使と手を取り合うことになるような要因が見当たらず、もともと僕が少し周囲から浮いている子みたいな匂わせでもあればなあ、と思いました。

### 文章ルールについて

特に気になる点はありませんでした。

強いて言うなら【透明人間になりながら生きてたい】は地の文なので、【生きていたい】の方が引き締まるかなと。

### 全体を通して10段階で評価すると



少し不思議で少しさみしいお話、大変良かったです。

【僕の天使は手を繋がないと見えない】という設定が存分に活かされた展開で、こういうの書いてえなあ〜！ってなりました。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム

# 評価アンケート

選択肢 1

お名前 \*

宣伝、サンプルとして貴方の回答を使用してもいいですか? \*

OK

だめ

その他: .....

誤字ありましたらご報告を...

全体を総合しての評価

10段階（1がよくない～10がよい）でお願いします。特に何も感じない、普通の時は5に入れてください。

記述式は特に何もなければ飛ばしていただいて大丈夫です。

良かった点を教えてください。

文体の明快さ、読みやすさ。気を遣った表現を用いずとも、独自の空気感を身に纏っている。

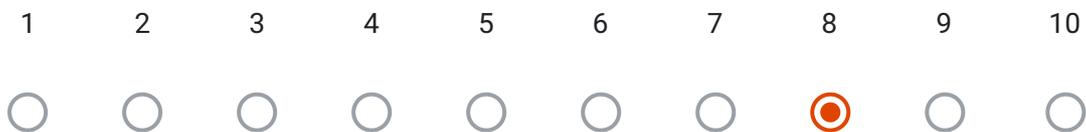
よくなかった、批判点などを教えてください。

わたしの感覚的な部分も多分に含まれているので気になさなくても大丈夫ですが、「お菓子の棚やマガジンラックについて調査する」や「漫画や小説は、表紙と題名を貴重な手がかりにして内容を推理する」といった表現が読み進める際に少し詰まった感がありました。特に後者は複数の例が続くセクションになっていて、どちらかを絞っても良いのかなと。

読みやすさ



情景描写



全体のまとめ

1 (まとめがない) ~10 (まとめがある)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>						

シーンごとの分量の配分

1 (少ない) ~5 (適切) ~9 (多い)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

要素の詰め込み具合

1 (少ない) ~5 (適切) ~9 (多い)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>				

文章ルールについて

---

全体を通して10段階で評価すると

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>						

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。

Google フォーム